



対象：小学生低学年以上

◇EVAGのキャラクターで、子供も大人も楽しめます
豪雨災害時の避難行動を考えるワークショップ
「知る」「気づく」「考える」ことで、
さまざまな人の立場を思いやり、共助を学ぶことができます

楽しく学ぶ 防災ワークショップ

建設コンサルタント

国土防災技術株式会社 営業本部

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3丁目18番5号

TEL : 03-3432-3656 Email : sinki@jce.co.jp

※教材の無断転載は禁止します



フリーダウンロードできるもの

- ・説明書（A4）両面・・・1枚
- ・ひなんカップ人形型紙（A4）12枚
- ・EVAGタウンマップ（A0）・・・1枚
- ・EVAGタウンマップ（A3）・・・8枚（A0を8分割）
- ・階段型紙（A3）・・・1枚
- ・危険個所表示マップ（A3）両面・・・1枚
- ・進行表 参考例（A3）両面・・・1枚

ここから
ダウンロード



用意するもの

- ・紙コップ（7オンス）・・・12個/班（無くてもOK）
- ・ペン・・・人数分
- ・ふせん
- ・のり又はセロテープ等

ひなんカップ人形 作り方

- ① ひなんカップ人形の型紙を切る
- ② 切った型紙をラミネートをする（しなくてもOK）
- ③ ②を型紙より少し大きめに切る
- ④ のりしろの下を先に軽くとめ、紙コップにかぶせ、サイズに合わせてのりやテープ等でとめる。

.....
・マップ（A3）8枚は広げて、テープ等で固定する
縁が気になる場合は切り取る
貼り合わせるとA0サイズの1枚のマップになる
.....

・階段を型紙の通り切り取り、テープ等でとめて、完成

期待される活用

- 学校教育における防災授業
- 地域でのコミュニティ強化
- 防災イベントにおける子供プログラム等



始める前に準備する

マップ



型紙



切り取り



完成



遊び方 ルール・進め方

- ・人数・・・1班6人ぐらいまで
- ・時間・・・15～40分（自由）

1班で12人のカップ人形のことを考えて、意見を出し合い、みんなの意見を聞きながら、合意する

みんなで自由に
問題を考えて
作っていいよ



2023.1

① カップ人形をよく見て読もう

どんな人かな？



② マップ上の家に人形をおいてみよう

家の番号が書いてあるよ

③ EVAGタウンに大雨が降り続くとどうなるかな？

想像できる災害を考えよう

- ・危ないところはどこ？
- ・危ないところに住んでいる人はだれ？
- ・安全なところへ早くひなんしよう

写真や動画を使って
イメージをつかむ
・ビフォー・アフター



④ どの人かな？ 3人選んで階段に寄せよう～豪雨時のひなん

- ・歩いて避難所に行くのに道のりが一番遠い人は？
- ・家族やペットのことが気になって避難できない人は？
- ・避難の時に言葉がわかりにくい人や声をかけにくい人は？
▶ お助けマンはいるかな？ ペアはできるかな？
- ・自分の体が気になって避難できない人は？
▶ お助けマンはいるかな？ ペアはできるかな？
- ・早く避難所に行くためにどの人に助けてもらえそう？
- ・雨の中、困っていたらどうする？ 等々・・・



⑤ みんなのまちにもいろんな人が住んでいるかも・・・？

気づいたことや思ったことを付箋に書いて、みんなで共有しよう

- ・今できそうなこと
- ・大きくなったらできそうなこと
- ・感想、自由

